

## もっと応募は増えるはず！～審議会の市民公募～

6月議会で  
質問！

### ■定員の3倍の応募！

この春、伊丹市で少し驚くことが起こりました。  
市が「伊丹市まちづくり市民会議※」の委員を募集したところ、定員30名に対し、なんと3倍以上の108名が手を挙げてくださったのです。市はよく審議会等の委員を公募しますが、たいていは残念ながら応募者少数（もしくはゼロ）。しかるに今回は、驚きの大人数応募！関係者一同ビックリです。

どうやら募集の手法（無作為で市民3000名を抽出しアンケートとともに委員就任を打診する）が功を奏した模様。  
※伊丹市まちづくり市民会議・・・「まちづくり基本条例」（H15年策定）について、市民委員が推進状況を検討する会議

### ■もっと集まるはず！

この結果から考察するに・・・“機会があれば市政に参画してもよい”と思っている市民は想像以上に存在しており、方法次第で市政にいつそう参画していただけるのではないかと。平たく言えば、“市民は実は関心があるんだ、やり方次第で集まるんだ”、ということではないか？そこで6月議会では、その“やり方”をテーマに質問しました。

### ■市民が参画しない4つの理由！

伊丹市は「審議会等の市民公募制度に関する指針」を設けおり、そこには委員は基本的に2名以上の市民を公募すること、とうたわれています。

しかるに応募が少ない。この課題は全国各地で課題になっており議論されています。それらの議論を分析してみると、市民が応募しないのには4つの理由がありました。

- ①公募自体を知らない → 告知の方法を改善する（今は基本的に広報紙、チラシやSNS（ツイッターやフェイスブック等）も活用）。報酬が出ることもPRする。
- ②内容が難しそう → 今のままではカタすぎて敬遠される。審議内容を分かりやすく説明する。
- ③時間的・物理的に困難 → 夜間や土日の開催・託児を拡充する。
- ④申し込みが煩わしい → 申し込み時に必要な小論文を簡素化するなど、ハードルを低くする。



これらは市役所全体で進めねばなりません。今回の「まちづくり市民会議」を担当する部署は前向きですが、全庁的かという点はまだの感も。審議会等は各部署が持っていますので、市役所全体で取り組まねば意味がありません。

### ■登録制度はどうか？

最後に1つ提案もしました。無作為抽出の委員登録制度についてです。

これは、H22年の東京都三鷹市を皮切りに、導入自治体が増加している方法で、まず無作為抽出した市民に、審議会等の委員になっていただけるか打診し、承諾くださった方を候補者として登録し、実際に委員募集する際は登録者に依頼するという方法です。

幅広い市民から意見を伺える方法であり、伊丹市でも検討に値すると思います。

今回の“まちづくり市民会議”の応募者多数！という結果に、私はすごいと感動しました。そして“市民の皆さんは参画してくださるんだ。”ということは、これまでの我々のやり方に課題があったのだと反省しました。工夫を重ねていきますので、ぜひ皆さん、市政に参画してドンドンご意見を仰ってください！

## 「自転車安全教室」各地で続々！

「自転車の安全対策」。自転車関連事故の割合が県内で最も高い伊丹市の、大きな課題です。

市では、自転車安全利用についての条例※を設けたのをはじめ、自転車教室を実施したり、専門の審議会を設けたり、自転車専用レーンを整備したりと、積極的に取り組んでいるところです。

同時に、各地で自主的に「自転車安全教室」を実施するところが出てきました。住民が自ら「自転車事故を減らそう！安全教室をしよう！」と声を上げられたものです。いくつか私も関わらせていただきました。様子をご報告しますと・・・

ある教室では、参加者が約80名。前半は屋内で、安全講話を聴いたりDVDを見たりします。後半は屋外で、実際に自転車に乗って訓練します。教室の効果は・・・個人的な話ですが、参加した長女（小3）は以後とても気を付けて自転車に乗るようになりましたし、私もブレーキは左からなど新たに知ったこともあって勉強になりました。

なにより、住民が自ら教室を実施することが素晴らしいです。市に申し出ると、出前講座として安全教室を実施いたします。みなさんご検討されてはいかがでしょうか。伊丹市での自転車関連事故が減ることを願ってやみません。

※正式名称は「伊丹市自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の推進に関する条例」（H26年4月策定）



# 児童クラブ、ついに2大課題が実現！

6月議会で  
質問！

## ■児童クラブの2大課題はこれだ！

「児童クラブ」とは、**小学校の学童保育**。就労などで昼間保護者が家庭にいない小学生を保育する取り組みで、伊丹市で1222名の児童が登録しています(5月末現在)。  
この児童クラブ、**特に大きな課題が2点**あります。随時質問してきましたが、改めて進捗を質問しました。

## ■課題1：4年生以降の受け入れ！

現在、伊丹市の児童クラブの**対象児童は小学3年生まで&特別支援学級などの6年生まで**です。これは児童福祉法第6条3にて、対象が「おおむね10歳未満の児童」とされていたことに即してだったのですが、近年6年生までとする学童が増加していました。さらに、**H24年に児童福祉法が改正され対象が「小学校に就学する児童」と**なりました。法改正の実施最終年度はH27年度です。

そこで「伊丹ではどうするんだ？」と問うたところ、「**来年度から順次4年生以降も受け入れる**」とのこと！ **悲願だった4年生以降の受け入れがとうとう実現しました！**

さらに「それなら今から準備が必要。**指導員と場所の確保・保育の質の担保は**いかに？」と質しました。特に懸念がスペース。ギューギューのクラブも多い中、大丈夫なのかと。厚労省ガイドラインでは「児童1人当たり1.65㎡」が基準ですが、今後これを割りこむクラブも出現する見込み。答弁では対策を講じること。早急な実行を求めました。

実  
現

## ■課題2：長期休暇中の開始時間を8:15～に！

現在、**夏休みなどは8:30～ですが、これをせめて8:15～に**、という課題です。

8:30～だと、保護者が先に家を出て、子どもが1人で家にカギをかけてクラブに行くご家庭が増えるのです。保育所を終えたばかりの新1年生にとっては特に厳しい状況です。普通の学校時、児童は8時前後には登校しますので、長期休暇中もせめて8:15～開所できないかというハナシです。

全国でみると、8:30開所は遅い方です。**約70%は8:30前に開所**しています。

そこで実現の有無を問うたところ、「**この夏休みから8:15～開所をスタート**します」とのこと。これも**長年の要望が実現**しました！ 実現に当たっては、負担が増える指導員さんへのフォローを要望しました。

実  
現

この2大課題は、保護者などから強い要望をお聞きしていたものでした。時間はかかりましたが実現することとなり、訴え続けていた私としても嬉しい限りです。  
ご要望のすべてがすぐに実現するとは限りませんが、粘り強く取り組むことで実現することも少なくありません。あきらめてしまわず、ぜひお声をお聞かせください。

# 伊丹市の税金滞納、どうなっている？！

伊丹市では近年「**債権管理の強化**」に取り組んでいます。“税金はじめ伊丹市がいただくべきお金(債権と言う)について、ちゃんと管理し、いただくべきものはキチンといただく。悪質な滞納は減らそう”というもので、H25年4月に「**債権管理条例**」を施行し、専門部署を設けて取り組んでいます。私も**H24年9月議会で「伊丹市の税滞納59億円！どうするの！」**と質問したのを皮切りに、都度発言を重ねているテーマです。

6月18日の総務政策常任委員協議会にて、進捗が報告されました。H25年度は、まず塩漬けになっている滞納を改めて調査してお支払いいただくなど取り組み、**約2200万円を整理**しました。また債権を持つ**各担当部署が徴収計画を作成**し、目標を立てて計画的に徴収するとともに、徴収がメイン業務の1つである部署からの**ノウハウ伝授**も進めています。

H25度の伊丹市の税滞納金がいくらになるかは、9月の決算時に明らかになります。それに合わせて9月議会で債権管理についての質問も考えています。**経済的に困窮されている方への福祉的対応はもちろんですが、悪質な滞納は看過できません。税負担の公平性担保のためにも、引き続き取り組んでまいります。**

## 役職のご報告

5月に臨時議会があり、相崎は引き続き下記の役職を担当することになりました。

- 総務政策常任委員会(委員長)
- 議会運営委員会(副委員長)
- 飛行場問題対策特別委員会

「フォーラム伊丹」(8名:単独最大会派)なる会派の**幹事長(代表)**も引き続き担当します。任期最後の1年、ますます邁進する決意です。



## 「サワコの茶話会」第7回



気軽な雰囲気で見聞交換する「サワコの茶話会」。“**実際に生活する市民の声が一番基本が一番大事**”をモットーに、毎回いろいろなご意見を伺い、市政に反映中です。次回(第7回)は下記の通り。お気軽に足を運び、普段感じていることをお話しください。心よりお待ちしております。

- 日時：平成26年8月27日(水) 18:30～20:30
- 場所：いたみホール 5階会議室3 ●人数：20名程度
- 申込：お名前&連絡先をメールや電話で(連絡先裏面)

※飛び込みのご参加もOKです

(人数把握のため事前連絡いただけるとありがたいです)

※託児はありませんがお子様連れ大歓迎

